

授業概要

心の働きを科学的に研究するために必要な、心理学の研究方法についての授業を行う。具体的には、実験法・調査法・観察法・検査法・面接法等の研究方法について講義する。また、分析方法として、実証的なデータの質的・量的な統計解析方法、更に、研究を進めるにあたって論理的な見方や、研究倫理についても講義する。なお、本科目は心理学科の必修、卒業に必須の科目である。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション, 心理学における研究の基礎, 科学と実証
第 2 回	実験と観察, 実証の手引き
第 3 回	独立変数の操作
第 4 回	従属変数の測定
第 5 回	剰余変数の統制
第 6 回	様々な実験法, 実験室実験, 現場実験と自然実験, 準実験
第 7 回	妥当性, 内観法の限界, 倫理的問題
第 8 回	調査法
第 9 回	観察法
第 10 回	検査法
第 11 回	面接法
第 12 回	研究の実施
第 13 回	結果の解釈
第 14 回	統計的分析
第 15 回	研究の実施と進め方
第 16 回	試験の実施

到達目標

心理学の研究の目的や意義について理解できる。
基本的な心理学の研究方法として、実験法・調査法・観察法・検査法・面接法についての基礎が理解できる。
研究の進め方、データ分析の基本的な方法についての基礎が理解できる。

履修上の注意

スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などはマナーモードにし、鞆の中にしまっておくこと。
講義の最後に、受講していれば必ずわかる必須問題についての小テストを行う。

予習・復習

授業の前日までに Teams に授業資料を掲載するので、教科書と資料をよく読んで予習をしておくこと。
講義内で行われた小テストの復習は必ず行い、理解し覚えること。

評価方法

定期試験 50%、受講態度 20%、講義内での小テスト 30%にて総合的に評価する。

テキスト

- 教科書名：心理学研究法-心を見つめる科学のまなざし 補訂版
- 著者名：高野陽太郎・岡 隆（編）
- 出版社名：有斐閣アルマ
- 出版年（ISBN）：2017年（978-4-641-22086-7）